



平成 30 年 11 月 19 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 財務部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2020年3月期から2022年3月期までの3カ年を対象とする中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

当社グループを取り巻く事業環境において、プロジェクターなどの固体光源化(LED、レーザー化)が漸次進むことで主力製品のひとつである反射鏡への影響が見込まれますが、これに対応した事業の変革を進めつつ、新しい事業構造を構築していきます。

プロジェクター搭載製品を主力とする当社は、光源からLCDパネル、マイクロミラーなどのイメージャー(撮像素子)まで光を導く照明系の光学部品を得意としており、固体光源化で増加が見込まれる固体光源用レンズの需要を取り込んでいきます。

また、自動車ヘッドランプの固体光源化による新しいレンズ需要に対応するとともに、各種の運転支援システム、自動運転技術を支えるセンサー関連製品にも展開することで車載用製品を当社事業の第二の柱としていきます。

この固体光源化の動きは、新事業として育成してきた機能性薄膜事業、フリット事業にも及びます。機能性薄膜事業は、高反射率、高耐久性の銀ミラー「Hi-Silver®」と他の照明系の光学部品との複合製品化により高付加価値を目指します。また、今年2月から始まったガラス容器への加飾蒸着は順調に拡大しており、生産能力の拡大を図ります。フリット(ガラス粉末)事業は、LED基板用、PiG(Phosphor in Glass: ガラス封止蛍光基板)など照明事業、光学事業で培った技術、商流などのリソースが生かせる分野を中心としつつ幅広い事業展開を図ります。

こうした方針のもと、売上高の拡大、売上高営業利益率の向上を目指します。

経営目標数値

	2020年3月期目標	2021年3月期目標	2022年3月期目標
連結売上高	6,500百万円	7,500百万円	9,000百万円
連結営業利益	320百万円	480百万円	900百万円
連結売上高営業利益率	4.9%	6.4%	10.0%

詳細につきましては添付資料をご参照ください。

※本資料に記載されている中期経営目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上